

第 281 回 日本体育大学長距離競技会

【出場結果】

実施日 : 11月14日(土) 10000m 11月15日(日) 5000m

会場 : 日本体育大学健志台陸上競技場

出場者 : 八木沢 直也 渡辺 瑠偉 親崎 達朗 小林 航央 関口 大樹

出場種目・出場者・リザルト

氏名	関口	親崎	渡辺	八木沢	小林
種目	10000m	10000m	5000m	5000m	5000m
組	3組目	5組目	13組目	13組目	14組目
タイム	30'36"05	29'56"66	15'15"43	14'33"26 (入社後ベスト)	14'16"23 (入社後ベスト)
順位	4/31	6/27	33/34	11/34	1/25

【レポート】

年間最大のチーム目標であった東日本実業団駅伝が終わり、今年度はこれから個人戦に突入することとなります。

駅伝後、最初のトラックレースはコロナ禍の中、規模を縮小した形で、日本体育大学長距離記録会が開催され5名の選手が出場して参りました。

11月14日(土)に行われた10000mには親崎と関口の2名が出場しました。

3組目に出場した関口は、今季初の10000mのレースでしたが、1000mの通過が3分を少し超えるゆったりとしたペースの中、序盤から中盤にかけて先頭でペースメイクを行い、終盤は先頭から少し離されましたが、大崩れせずに30分36秒台でゴールしました。

5組目に出場した親崎は、次週に行われる八王子ロングディスタンスの10000mに標準を合わせている為、今回は調整走の位置づけで30分切を目標に走りましたが、5000mを14'49"で通過すると、その後も安定したペースを刻み予定通り29分56秒台でゴールし、次週のレースに期待が持てる結果となりました。



先頭でペースメイクする関口



落ち着いた走りでレースを進める親崎

翌 15 日（日）に行われた 5000m では、八木沢、渡辺、小林の 3 名が出場しました。

13 組目に出場した八木沢、渡辺は 1000m の通過が 2 分 50 秒を切るペースとなり、後方でレースを進めることとなりましたが、渡辺は 2000m 手前で集団から大きく遅れることとなり、厳しいレースとなりました。八木沢は中盤以降、集団のペースが落ちていく中、次々と前の走者を抜き去り得意のラストスパートも冴え、14 分 33 秒台の入社後ベスト記録をマークしました。

14 組目に出場した小林は、スピードカ抜群の選手ですが、その力をレースでも遺憾なく発揮して終始レースをコントロールする組トップの走りで、14 分 16 秒台の入社後ベスト記録をマークしました。

今回は事前に掲げた個人目標をクリアする選手が多く収穫のあるレースとなりました。



懸命に前を追う渡辺



集大成のレースで入社後ベストをマークした八木沢



自身に満ちあふれた走りで組トップでゴールした小林

今後とも、皆様の温かいご声援をお願い致します。

以上